インストールガイド

AXIS Q1602-E ネットワークカメラ

AXIS Q1604-E ネットワークカメラ

日本語

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

本製品には H.264 デコーダー用のライセンスが 1 つおよび AAC デコーダー用のライセンスが 1 つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

商標

Apple、Boa、Bonjour、Ethernet、Internet Explorer、Linux、Microsoft、Mozilla、Netscape Navigator、OS/2、Real、SMPTE、QuickTime、UNIX、Windows、WWW は各社の登録商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems Inc. の商標または登録商標です。Axis Communications AB は Sun Microsystems Inc. とは無関係です。UPnP™ は、UPnP™ Implementers Corporation (UIC) の商標です。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオまたはテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向または位置を変更する。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なるコンセントに接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。

EMC 基準に準拠するには、本装置と一緒にシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 – 本装置は FCC 基準のパート 15B に基づき、クラス B コンピューターデバイスの規定範囲に準拠しているかどうかの審査を受け、認証済みです。FCC 基準のパート 15B は、装置を商業環境内で作動させた場合、干渉などから適度な保護を提供するように設計されています。居住地区での本装置の動作は干渉を引き起こす可能性が高くなります。その場合、ユーザーは干渉をなくす措置を自費で行わなければなりません。

カナダ – このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

欧州 – CE このデジタル装置は、EN55022 の規定範囲 B に準拠した放射妨害波に関する要件、また居住地および商業地域での EN55024 の規定範囲に準拠した耐性に関する要件を満たしています。

日本 – この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置し、使用してください。

オーストラリア – この電子機器は、無線通信 (電磁適合性) 基準 AS/NZS CISPR22 の要求を満たしています。

韓国 – 이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがって設置および使用してください。本装置には、ユーザーが交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字･脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料の提供、パフォーマンス、使用に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令

欧州連合では、電気および電子装置廃棄物についての指令 2002/96/EC (WEEE 指令) を導入しました。この指令は、欧州連合加盟国に適用されます。

本製品またはその資料の WEEE マーク (右側を参照) は、家庭のゴミと一緒にこの製品を捨ててはならないことを示しています。人間の健康および / または環境への害を防止するために、本製品は承認を受けた環境的に安全なリサイクルプロセスで処分することが必要です。本製品を正しく処分する方法について詳しくは、製品のサプライヤーまたはご使用地域でのゴミ処理を担当する地域当局にご連絡ください。

業務ユーザーの方は、本製品の正しい処分方法について、製品のサプライヤーまでご連絡ください。本製品は、他の産業廃棄物と混合しないでください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことが行えます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索する。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

安全確保

製品をインストールする前に、本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品の損傷を防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- Axis 製品は、乾燥した換気のよい環境で保管してください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力が製品にかからないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定または振動する場所や壁に取り付けないでください。
- Axis 製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。清掃する場合には湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリーのみを使用してください。このようなアクセサリーは Axis またはサードパーティーから購入できます。
- Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

⚠ 重要！

- 本 Axis 製品は、お使いになる国・地域の法律および規制にしたがって使用してください。

バッテリーの交換

本 Axis 製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力の状態となると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、必要な場合以外には交換しないでください。

バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

AXIS Q1602-E/AXIS Q1604-E ネットワークカメラのインストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS Q1602-E/AXIS Q1604-E をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。本製品の使用についてのその他の詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からご覧いただけます。

インストール手順

1. 以下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアのインストール。8 ページを参照してください。
3. IP アドレスの設定。13 ページを参照してください。
4. パスワードの設定。17 ページを参照してください。
5. ズームとピント合わせ。20 ページを参照してください。

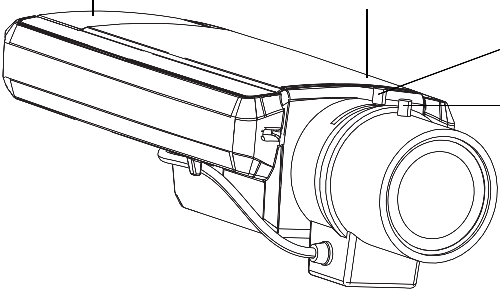
重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

① パッケージの内容

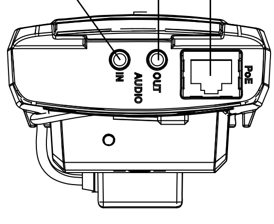
品目	モデル / 型 / 注
ネットワークカメラ	AXIS Q1602-E/AXIS Q1604-E
壁面ブラケット	壁面ブラケット
ツール	トルクス T20 ドライバー 六角レンチ
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD（製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む）
印刷物	AXIS Q1602-E/AXIS Q1604-E インストールガイド（本書） Axis 保証契約約款 予備のシリアル番号ラベル（2 枚） AVHS 認証キー

オプションアクセサリー	利用できるアクセサリーについては、www.axiscom.co.jp を参照してください。

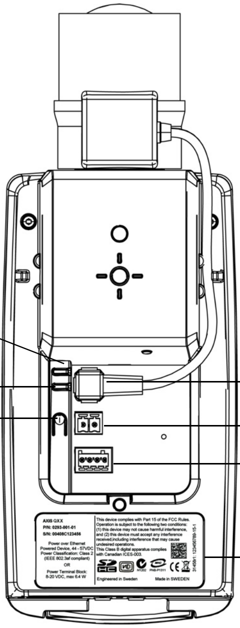
ハードウェアの概要



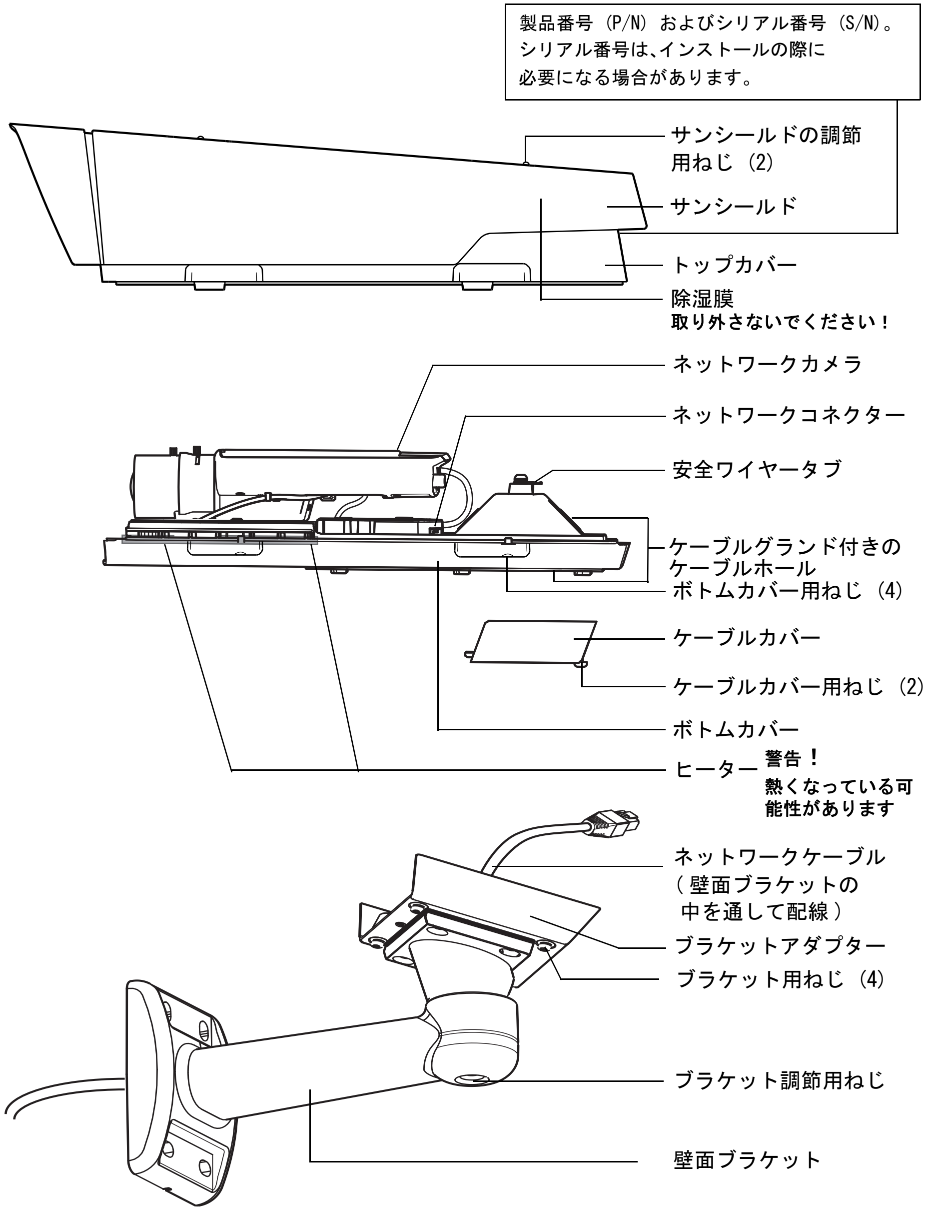
背面図



底面図



トップカバー、ボトムカバー、壁面ブラケット



❷ハードウェアのインストール

以下の手順にしたがって、ネットワークカメラをインストールします。

壁面ブラケットのインストール

1. 壁面ブラケットを取り付けるために、付属の穴あけテンプレートを使用して壁面またはポールを準備します。
2. 壁面ブラケットにネットワークケーブルを通し、ブラケットアダプターに通します。カメラに接続するために、約 30cm のケーブルを残しておきます。
3. 壁面、天井、またはポールに壁面ブラケットを取り付けます。このとき、ねじやプラグが壁などの材質（木材、金属、石膏ボード、石など）に適していることを確認してください。

注記：

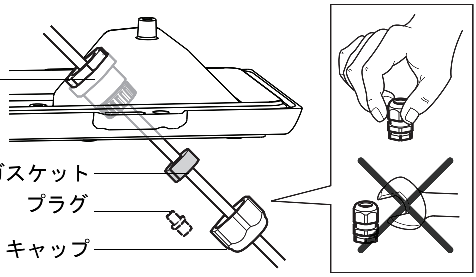
- カメラの重さを次の表に示します。取り付け先の材質にこの重量を十分に支えられる強度があることを確認してください。

モデル	重量
AXIS Q1602-E	3.2 kg
AXIS Q1604-E	3.2 kg

- 技術仕様の詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、本製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からご覧いただけます。

ケーブルホールにネットワークケーブル（およびオプションケーブル）を通す。

1. ケーブルカバーのねじを緩めて、ボトムカバーからケーブルカバーを取り外します。



2. 使用するケーブルグランドからキャップ、プラグおよびガスケットを取り外します。
3. ネットワークケーブルをキャップに通します。
4. ネットワークケーブルをガスケットの溝に入れ、ガスケットをネットワークケーブルに取り付けます。
5. ネットワークケーブルをケーブルグランドに通します。
6. ガスケットをケーブルグランドに入れ、キャップをしっかりと締めます。

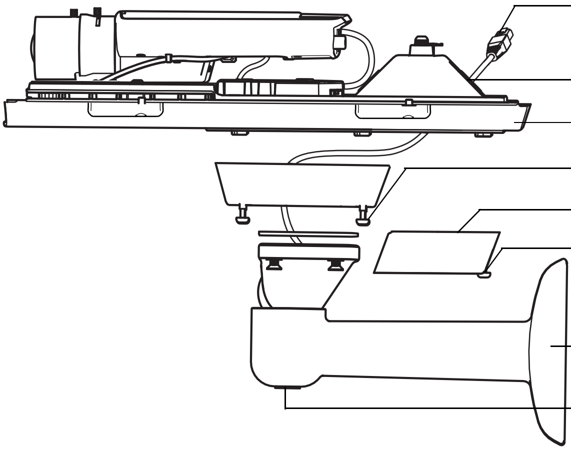
注記：

- 付属のケーブルグランド以外の他のケーブルグランドを使用すると、浸水が生じてカメラが損傷することがあります。
- Axis製品とエンドポイント間では必ず屋外用シールド付きネットワークケーブル（STP）を使用し、エンドポイントが正しく接地されるよう確認してください。シールド付きネットワークケーブル（STP）を使用し、エンドポイントが正しく接地されたAxis製品の設置は、サージ保護などの業界の耐性基準レベルに準拠していることが試験で実証されています。その他の設置方法では保証が無効になり、ユニットに危険が及ぶ可能性があります。
- 直径4.0 mm ～ 5.5 mmのオプションケーブルは、別のケーブルグランドに通して配線してください（*ハードウェアの概要*を参照）。

日本語

壁面ブラケットにカメラを取り付ける

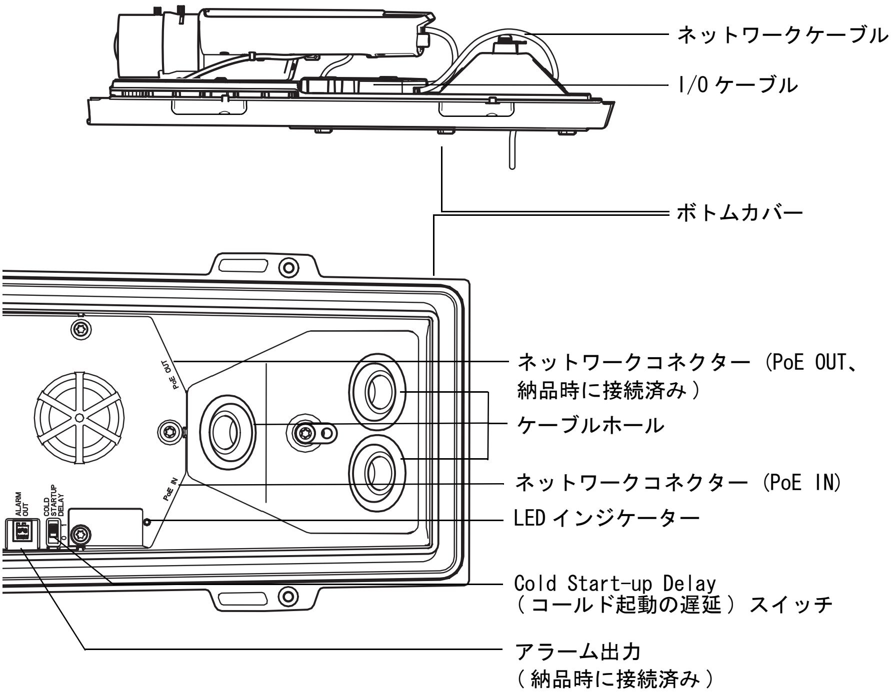
1. カメラをボトムカバーとともに壁面ブラケットに取り付け、ブラケット用ねじを締めます。
2. ケーブルカバーを取り付けて、ねじを締めます。
3. ケーブルを接続します。*ケーブルを接続する*, 11 ページを参照してください。



4. ブラケット調節用ねじを緩めて、カメラのフォーカスを合わせます。*ズームとピント合わせ*, 20 ページの指示にしたがってカメラのピントを合わせます。ビデオストリームを表示する方法について詳しくは、*ビデオストリームにアクセスする*, 18 ページを参照してください。
5. トップカバーの安全ワイヤーをボトムカバーのタブに取り付けます（*ハードウェアの概要*の図を参照してください）。
6. 必要な場合、SD カード（付属していません）を SDHC (Secure Digital High Capacity) カードスロットに挿入します（オプション）。
   カメラ内に画像を保存するには、標準または大容量の SD カードが必要になります。

ケーブルを接続する

1. 必要に応じて、外部入出力デバイスを接続します。*I/O ターミナルコネクター*，26 ページを参照してください。
2. ハウジングにあるネットワークコネクターにネットワークケーブルを接続します。



注記：

電力サージから製品を守るために、シールドネットワークケーブル（STP）を使用することが必要です。

3. ハウジングのステータス LED が正しい状態を示していることを確認します。詳細については、28 ページの表を参照してください。

Cold Start-up Delay（コールド起動の遅延）スイッチ

このスイッチはデフォルトで有効になっています。このスイッチがオンの状態になっていることを確認してください。

この Axis 製品で使用されているハウジングには、Arctic Temperature Control（極寒温度コントロール）機能が搭載されています。Cold Startup Delay（コールド起動の遅延）スイッチを I（オン）に設定すると有効になります。有効にすると、この機能は、気温が 0°C 未満の場合に停電後にカメラが再起動するとき、カメラがまず約 0°C に加熱されてから初期化されるように制御します。この機能は、零度未満の気温から悪影響を受けるカメラ部品の損傷を防ぎます。

トップカバーを取り付ける

1. トップカバーをボトムカバーに取り付けます。対角線上のボトムカバー用ねじを一度に数回りずつ締めていってください。最初からねじを完全に締め付けないでください。
2. サンシールド調節用ねじを緩めて、サンシールドを必要な位置に調節します。

③ IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合、ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

固定 IP アドレスを設定したい場合、Windows をご使用の場合は **AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** のいずれかの使用をお勧めしています。インストールするカメラの台数に応じて、最適な手段をお選びください。

これらはいずれも無償のソフトウェアで、本製品に付属する AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、Axis のホームページ www.axiscom.co.jp からダウンロードしてご利用いただけます。

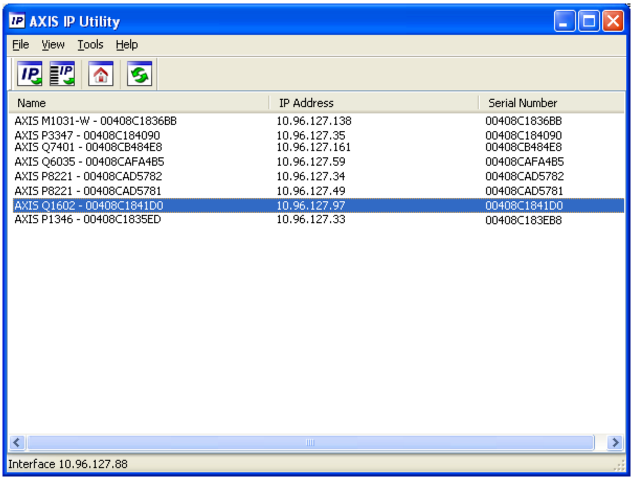
使用できる手段	**推奨される製品設置環境**	**オペレーティングシステム**
AXIS IP Utility 14 ページ 参照	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 15 ページ 参照	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでのインストール	Windows 2000 Windows XP Pro Windows 2003 Server Windows Vista Windows 7

注記：

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによってこの操作が妨げられていないかどうかを確認してください。
- 他の OS を使用する場合など､その他の IP アドレスの設定および検出方法については、23 ページを参照してください。

AXIS IP Utility を利用する（1 台のカメラ / 小規模インストール向き）

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。また、手動で固定の IP アドレスを設定することができます。



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント（物理サブネット）に接続されていることが必要です。

自動検出機能

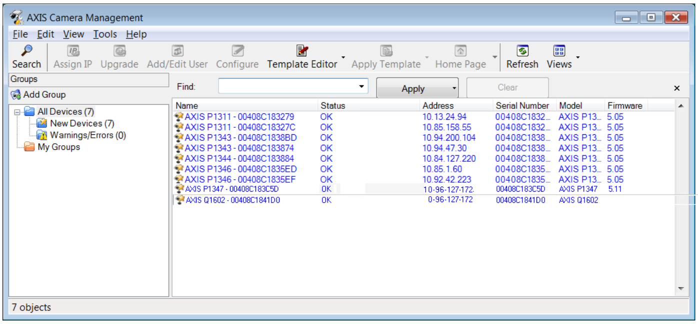
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. ウィンドウでネットワークカメラが表示されたら、ダブルクリックしてそのホームページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、17 ページを参照してください。

IP アドレスの手動設定（オプション）

1. コンピューターと同じネットワークセグメント上で、未使用の IP アドレスを入手します。
2. リストでネットワークカメラを選択します。
3. [Assign new IP address to selected device（**選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定**）] ボタン  をクリックして、IP アドレスを入力します。
4. [Assign（**IP を設定**）] をクリックし、画面の指示にしたがいます。新しい IP アドレスを設定するには、2 分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. [Home Page（**ホームページ**）] をクリックして、本カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、17 ページを参照してください。

AXIS Camera Management（複数台のカメラ / 大規模インストール向き）

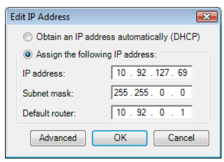
AXIS Camera Management はネットワーク上の Axis ビデオ製品を自動的に検出し、IP アドレスの設定、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレードなどを複数台のデバイスに対して行うことができるソフトウェアです。



自動検出機能

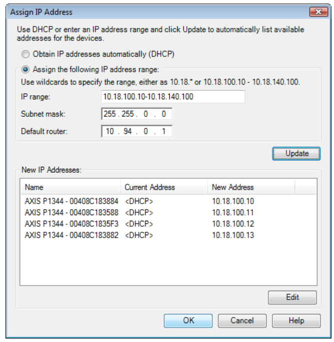
1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page（ライブビューホームページ）] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、17 ページを参照してください。

1 台のデバイスに IP アドレスを設定する



1. 一覧から設定を行うネットワークカメラを選択し、[Assign IP（IP を設定）] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address（次の IP アドレスを設定）] を選択し、デバイスに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーターの値を入力します。
3. [OK] をクリックします。

複数のデバイスの IP アドレスを設定する



AXIS Camera Management を利用すると、特定の範囲から IP アドレスが提示されるため、複数のデバイスに IP アドレスを割り当てる作業を迅速化します。

1. IP アドレスを設定する複数のデバイス（異なるモデルも選択可能）を Shift キーを使って一覧から選択し、**[Assign IP (IP を設定)]** ボタン をクリックします。
2. **[Assign the following IP address range（次の IP アドレス範囲を設定）]** を選択し、IP アドレスの範囲、デバイスが使用するサブネットマスク、デフォルトルーターを入力します。
3. **[Update（更新）]** をクリックします。設定される IP アドレスが **[New IP Addresses（新しい IP アドレス）]** の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して **[Edit（編集）]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。

❹パスワードの設定

製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー root 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、**ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される**、[Configure Root Password（ルートパスワードの設定）] ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

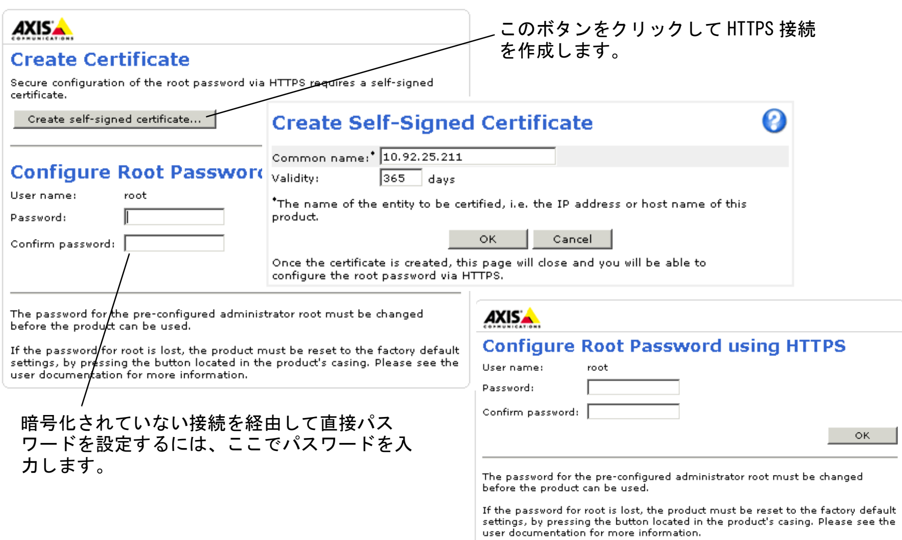
注記：

HTTPS（Hypertext Transfer Protocol over SSL）は、Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

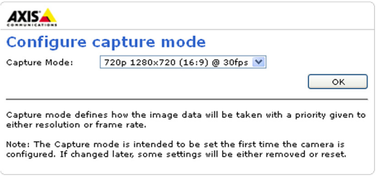
HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. [Create self-signed certificate（**自己署名証明書の作成**）] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、安全な状態でパスワードを設定できるようになりました。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。



日本語

4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。デフォルトの管理者ユーザー名である root は削除できません。
5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合、工場出荷時のデフォルトの設定にカメラをリセットする必要があります。29 ページを参照してください。
6. AXIS Q1604-E : キャプチャーモードは、製品に初めてアクセスしたときに設定する必要があります。必要なキャプチャーモードを選択し、[OK] をクリックします。Axis 製品の使用場所に合う電源周波数 (50 ヘルツまたは 60 ヘルツ) のキャプチャーモードを選択し、[OK] をクリックします。50 ヘルツの場合は、最大のフレームレートが 25 fps に制限されます。



注記 : 電源周波数は、地域によって異なります。東日本では 50 ヘルツが使用され、西日本では 60 ヘルツが使用されています。

ビデオストリームにアクセスする

ネットワークカメラの [Live View (ライブビュー)] ページが表示されます。ここには Setup (設定) ツールへのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。

必要な場合、**[Yes (はい)]** をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

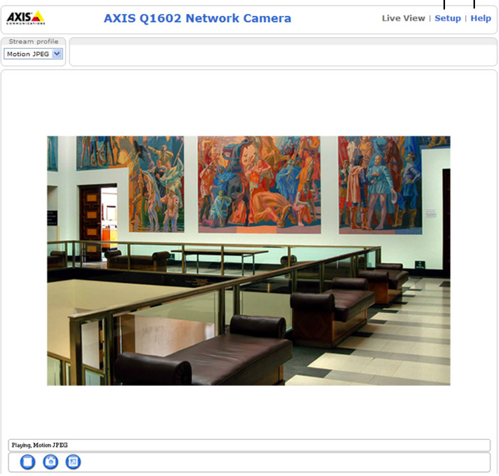
必要に応じてリンクをクリックし、足りないデコーダーをインストールしてください。

注記：

Windows Vista および Windows 7 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[**Run as administrator（管理者として実行）**] を選択します。

Setup – お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。

Help – カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。



❺ズームとピント合わせ

ズームとピント合わせを行うには、次の手順にしたがいます。

1. 製品のホームページを開き、[Setup (**設定**)] > [Basic Setup (**基本設定**)] > [Focus (**フォーカス**)] を開きます。
2. [Basic (**ベーシック**)] タブの [Open iris (**絞りを開く**)] ボタンをクリックします。ボタンが押せない状態になっている場合は、絞りは既に開いています。
3. 以前にピント合わせを行ったことがある場合は、[Reset (**元に戻す**)] ボタンをクリックしてバックフォーカスをデフォルトの状態に戻してください。
4. ズーム調節ネジとピント調節ネジを反時計回りに回して緩めます。画像の状態を確認しながら、ズーム位置を決定し、続いてピント合わせを行います。

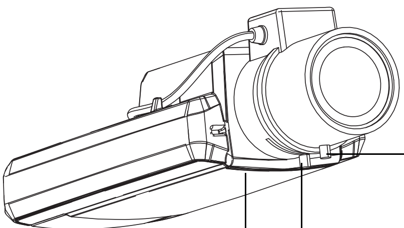
注記:

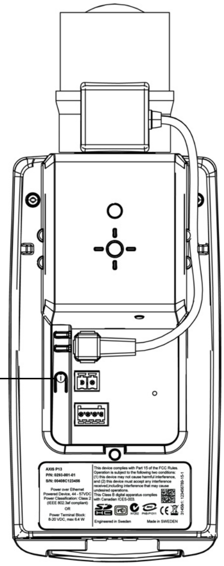
画像を見ながら調節ねじを同時に動かすことができないようにカメラが取り付けられている場合、代わりにフォーカスアシスタントを使用します。21 ページを参照してください。

5. ズーム調節ネジとピント調節ネジを締めます。
6. [Focus (フォーカス)] ページで、[Fine-tune focus automatically (**自動的にフォーカスを微調整**)] ボタンをクリックします。ピント合わせの微調整が自動的に行われます。
7. [Enable iris (**絞りを有効化**)] をクリックします。ボタンが押せない状態になっている場合は、絞りは既に有効になっています。
8. より正確なピント合わせを行う場合は、[Advanced (高度な設定)] タブをクリックします。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

注記：

- 自動微調整を利用する前に、ピント調節ネジまたはフォーカスアシスタントを利用してできるだけ正確にピント合わせを行ってください。通常は、ピント調節ネジを利用して最も良い状態を得ることができます。
- ピント合わせを行っている際は、絞りは常に全開放にしてください。被写界深度が最も浅くなり、ピント合わせに最適な状態を得ることができます。





フォーカスアシスタント

フォーカスアシスタントを使用してピントを合わせるには、次の手順に進む前に 20 ページの 1 ～ 3 の手順にしたがってください。

1. カメラが動かないようしっかりと固定してください。
2. ズーム調節ネジを反時計回りに回して緩めます。ズーム位置を決め、ズーム調節ネジを締めて固定します。
3. ピント調節ネジを緩め、レンズを時計回りに最後まで回し、最も離れた位置にピントを合わせます。
4. コントロールボタンを押してすぐに離します。ステータス LED が緑色に点滅し、フォーカスアシスタント機能が有効になります。
   ステータス LED が赤またはオレンジ色で点滅している場合は、手順 7 へ進んでフォーカスアシスタント機能を一旦終了し、手順 3 ～ 7 をやり直してください。
5. レンズを時計と反対の方向に止まるまで回します。
6. ステータスインジケーターが緑色またはオレンジ色（赤ではありません）で点滅するまでレンズをゆっくりと時計回りに回します。
7. コントロールボタンを押してフォーカスアシスタント機能を無効にします。

注記：

フォーカスアシスタント機能は、15 分経過すると自動的にオフになります。

8. ピント調節ネジを締めて固定します。
9. Web ブラウザで［Live View（ライブビュー）］ページを表示し、画質を確認してください。
10. 次に 20 ページの 6 ～ 8 の手順を行います。

注記：

- ピント合わせをしている最中には、カメラの前の被写体を変えないでください（手順 5 と 6)。カメラを動かした場合、またはレンズ前に指やケーブルなどが入ってしまった場合などは、手順 3 ～ 7 を再度行ってください。
- 被写体がどうしても動いてしまう場合は、フォーカスアシスタントは使用しないでください。
- コントロールボタンを 2 秒以上押した場合、フォーカスアシスタント機能が有効となる代わりに AXIS Internet Dynamic DNS サービスが有効になります。
- コントロールボタンの操作が困難な場所にカメラを設置する場合でもフォーカスアシスタント機能を利用できます。上記の手順にしたがいますが、手順 4（コントロールボタンを押す）の後にカメラを取り付け、手順 7 をスキップします。

IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	注記
AVHS サービス接続	すべて	カメラを AVHS サービスに接続するには、サービスプロバイダーのインストールガイドを参照してください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーについての情報や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。
UPnP™	Windows	コンピューターで有効に設定されている場合、カメラが自動的に検出されて、[マイネットワーク / ネットワーク] に追加されます。
Bonjour	Mac OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー（Safari など）の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシーを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの発行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバー	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

AXIS Video Hosting System (AVHS)

カメラを AVHS サービスに接続してビデオをホスティングすることもできます。AVHS サービスに加入している場合は、サービスプロバイダーのインストールガイドの指示にしたがってください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーの詳細や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。

Camera owner authentication key（**カメラ所有者の認証キー**）が本製品に添付されています。このキーは、ラベルの上部に記載されているカメラに一意のシリアル番号 (S/N) と関連付けられています。

注記：

このキーは、今後参照するために保管しておいてください。

日本語

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントで、未使用の IP アドレスを入手します。
2. カメラの製品ラベルに表示されているシリアル番号（S/N）を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windows の構文：	Windows の例：
arp -s <IP アドレス> < シリアル番号 > ping -l 408 -t <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Mac の構文：	UNIX/Linux/Mac の例：
arp -s <IP アドレス> < シリアル番号 > temp ping -s 408 <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -s 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を取り外してから接続し直し、カメラを起動 / 再起動します。
5. 画面に 'Reply from 192.168.0.125:...' またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス >」と入力し、キーボードの Enter キーを押します。

注記：

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [**ファイル名を指定して実行 ...**] を選択し、cmd と入力してから [OK] をクリックします。
- Windows 7 または Windows Vista で ARP コマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、[**管理者 として 実行**] を選択します。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、**Application** > **Utilities** の Terminal utility を使用します。

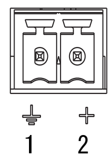
各種コネクター

ネットワークコネクター － RJ-45 Ethernet コネクター（出荷時に PoE OUT に接続）。Power over Ethernet に対応。

注意！

製品をご使用になる地域の規制または環境および電気条件によっては、シールドケーブル（STP）の使用が適切または必要な場合があります。屋外環境または屋外に類似した環境にネットワークケーブルを配線する場合、そのような特定用途に適したシールドケーブル（STP）をご使用ください。ネットワークスイッチが正しく接地されていることを確認してください。規制要件については、電磁環境適合性（EMC）を参照してください

日本語

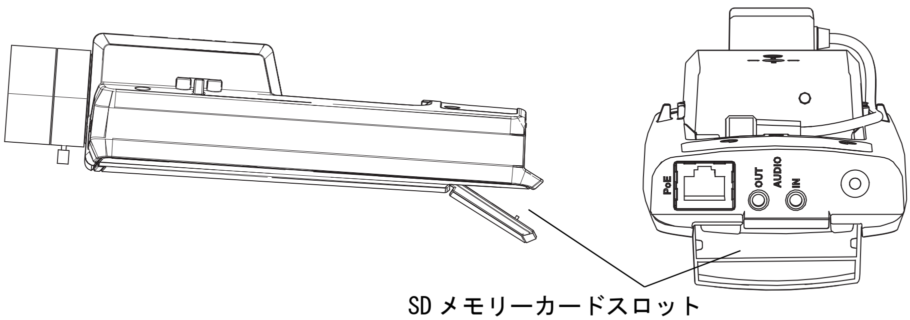


電源コネクター － 電源入力用に使用する 2 ピンのコネクターブロック（使用されていません）。

音声入力 － 3.5mm モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号（ステレオ信号の場合は左チャンネルだけを使用）入力ソケットです。

音声出力 － 音声出力（ラインレベル）には、アンプ内蔵スピーカーや PA システムを接続することができます。この端子への接続には、ステレオコネクターを使用してください。

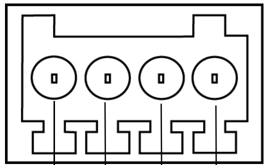
SDHC メモリーカードスロット － SD/SDHC メモリーカードを利用して、録画データをローカルに保存します。



SD カードを挿入する場合は、ネットワークカメラの背面にある SD カードカバーを持ち上げて SD カードを注意深くスロットに差し込んでください。

SD カードを取り出す場合は、カバーを持ち上げてから、SD カードを軽く押してください。SD カードは取り出せる位置までスロットから出てきます。

I/O ターミナルコネクター - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用。補助電源と GND ピンの他に、次のインターフェースを提供します。



- 1つのデジタル出力- リレーやLEDなどの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、VAPIX® API（アプリケーションプログラミングインターフェース）、[**Live View（ライブビュー）**] ページの出力ボタン、または [**Action Rule（アクションルール）**] で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active と表示されます（[**System Options（システムオプション）**]>[**Ports & Devices（ポートとデバイス）**] の下に表示）。
- 1 つのデジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイス（たとえば、PIR、ドア / 窓のコンタクト、ガラスが割れた場合の検出器など）を接続するためのアラーム入力。信号を受け取ると、**状態**が変化して入力が active（有効）になります（[**System Options（システムオプション）**]>[**Ports & Devices（ポートとデバイス）**] の下に表示）。

注記：

ネットワークカメラの I/O コネクターは納品時にハウジングに接続され、ファンまたはヒーターエラーを示す入力ポートイベントをトリガーします。イベントの設定方法の詳細については、本製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）から利用できるユーザーズマニュアルを参照してください。

機能	**ピン**	**注記**	**仕様**
GND	1	接地	
3.3V DC電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 **注意**：このピンは電源出力としてのみ使用してください。	最大負荷 = 50mA
デジタル入力	3	動作させるには GND に接続します。無効にする場合はフロート状態（または未接続）としてください。 **注意**： 納品時にハウジングに接続されています。	0 ～ +40V DC
デジタル出力	4	アクティブにした場合にグランドに内部接続、アクティブでない場合はフロート状態（未接続）。 リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護用に、ダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷 = 100mA 最大電圧= +40V DC

注記：

詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

LED インジケーター（カメラ上）

LED	色	説明
ネットワーク	緑色	100Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
	オレンジ色	10Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
ステータス	緑色	正常動作時に、緑色で連続点灯します。 **注記**：ステータス LED は、通常動作中に消灯させたり、ネットワークカメラへのアクセス中のみに点滅させたりすることができます。設定するには、**[Setup（設定）] > [System Options（システムオプション）]> [LED settings（LED の設定）]** を使用します。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、および設定を復元している時にオレンジ色で点灯します。
	赤色	アップグレードに失敗すると、ゆっくりと点滅します。
電源	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。

フォーカスアシスタント機能使用時のステータス LED（カメラ上）

色	説明
緑色	手順 4：フォーカスアシスタントが有効な状態 手順 6：ピント合わせが適切に行われている状態
オレンジ色	手順 4：カメラが動いてしまった、またはレンズの前に何かが入り込んでしまった状態。フォーカスアシスタントを一旦終了してから再起動してください。 手順 6：ピント合わせがやや甘い状態
赤色	手順 4：カメラが動いてしまった、またはレンズの前に何かが入り込んでしまった状態。フォーカスアシスタントを一旦終了してから再起動してください。 手順 6：ピントが合っていない状態

注記：

このステータス LED は、通常の動作中に消灯するように設定できます。

ハウジングのステータス LED（ファン / ヒーター）

色	説明
緑色	OK
緑色に点滅	1 回点滅：ヒーターエラー 2 回点滅：ファンエラー 3 回点滅：一般的なエラー **注意**： アラームイベントはカメラの入力ポートを通してトリガーされます。本製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) から利用できるユーザーズマニュアルを参照してください。故障修理については、Axis 販売店までお問い合わせください。

工場出荷時設定にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと、IP アドレスやピント設定を含むすべてのパラメーターが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. ネットワークカメラの電源を切ります。
2. コントロールボタンを押しながらネットワークカメラの電源を接続し直します。
3. ステータスインジケーターがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押したままにします (約 15 秒程かかります)。
4. コントロールボタンを離します。ステータスインジケーターが緑色で点灯します (1 分程かかる場合があります)。ネットワークカメラは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。
5. 本書で説明する方法で IP アドレスを設定し直します。
6. 本書で説明する方法でカメラのピントを再度合わせます。

パラメーターを工場出荷時のデフォルトの設定にリセットするには、Web インターフェースを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする場合は、トラフィックを受け入れられるようネットワークルーターを設定する必要があります (通常、特定のポートで行われます)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート : 80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート : 554)

詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。この他のトピックについての詳細は、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、Axis の Web サイト (www.axiscom.co.jp) または本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD からご覧いただけます。

ヒント :
www.axis.com/techsup にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアの更新がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、**[Setup (設定)]** > **[About (バージョン情報)]** をクリックします。

日本語

インストールガイド	Ver. 2.0
AXIS Q1602-E/AXIS Q1604-E ネットワークカメラ	作成日：2011 年 10 月
© Axis Communications AB, 2011	製品番号： 44811